

令和6年度施政方針の概要

令和6年2月21日、令和6年第1回富里市議会定例会で五十嵐博文市長から施政方針が発表されました。その中から、主な事業や今後の取組をお伝えします。



富里市長 五十嵐 博文

現在の社会情勢は、人口減少、少子高齢化の進行や物価高騰など、依然として厳しい状況にある中で、市民生活への支援は最も重要なものと捉え、特に次代を担う子どもたちの子育て環境の充実が強く求められています。

そこで、令和6年度予算では、健康・福祉・教育分野を中心としたチャレンジの画期となる一年のスタートとして、歳入改革を更に強く進める一方で、「とみさと元気なまち宣言」のもと、子どもから高齢者まで全てのニーズに合わせた切れ目ない支援と確実な成果に結びつけることで、市民の皆様の元気につなげてまいります。

心ひとつに 未来に向かって飛び立つ 躍動の富里

全文は市公式ホームページをご覧ください



福祉(子育て) 中学生の学校給食費無償化

これまでの第3子以降の学校給食費無償化に加え、令和6年度から新たな市独自の支援策として、市立中学校に通う全中学生を対象に、恒久的な無償化を実施します。安全に、おいしく・楽しい学校給食となるよう取り組みます。



福祉(子育て) 第2子の保育料無償化

認定子ども園や保育園に通う0歳から2歳までの園児の保育料は、国の制度により、第2子は半額、第3子以降は無償としていますが、更なる支援の拡充のため、令和6年度から第2子の家庭負担となる半額分を市が負担し、保育料を無償化します。安心して子育てができる支援体制が構築できるよう、更なる子育て環境の充実に取り組みます。



福祉(子育て) 公立幼稚園の預かり保育の時間延長

公立・私立の幼稚園では、教育時間の前後や夏期などの長期休業中に預かり保育を実施していますが、保護者のニーズに的確に対応するため、令和6年度から公立幼稚園の預かり保育の時間を更に延長します。このことで、おおむね保育所と同等の時間帯で預かり保育を可能とし、子育て世帯の幼児教育・保育の選択肢を広げるとともに、子育て環境の充実を図ります。



福祉(子育て) 保育士などの人材確保支援

全国的に保育士が不足している中、本市においても人材確保が難しくなっている状況があります。さらに、今後、保育士の配置基準が見直されるなど、ますます保育人材の確保は重要であることから、保育士などの新たな採用と定着の向上のため、令和5年度から市独自に実施している給与上乗せ補助を令和6年度も引き続き実施し、子育て環境の整備を図ります。



福祉(子育て) とみさと入学祝い金

子育て世帯の経済的負担が増加していることから、令和5年度から市独自の子育て支援施策として「とみさと入学祝い金」を実施しています。令和6年度も引き続き、小・中学校への入学を控える児童の就学準備費用の一部として、児童1人当たり2万円を支給し、次代を担う子どもたちの健康で豊かな成長を応援するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。



福祉(子育て) こども家庭センターを新設

母子保健や児童福祉の支援を必要としている全ての妊産婦・子育て世帯に、子どもへの一体的な相談支援を行うことを目的として、新たに「こども家庭センター」を設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援に取り組みます。虐待を未然に防ぐことに重点を置き、新たに子育て短期支援事業を展開します。また、母子保健事業として、新たに産婦健康診査の「健診費用助成」と産婦自身と赤ちゃんの発育・発達相談などを受ける「宿泊型産後ケア」を実施します。



こども家庭センターについては22ページへ

福祉 結婚から子育てまでの重点支援プロジェクト

これからの富里市を担う世代が、結婚・妊娠・出産・子育てへの希望を実現することができるよう、新たな支援策を検討するため、令和6年1月に、市民ニーズ把握のためアンケート調査を実施し、分析を進めているところです。令和6年度では、市民ニーズに対応した施策を展開していくため、順天堂大学の協力を得ながら、結婚から子育てまでの切れ目のない支援の具体的な取組が令和7年度以降に実施できるよう検討します。



健康 健康なからだづくり

専門医の分析や助言を得ながら、より効果的な減塩意識の啓発を図るとともに、令和6年度も引き続き、地区保健推進員の協力を得ながら、地元野菜を使用した減塩レシピを紹介する「とみさとやさしい大作戦」の取組を行います。また、歯科保健の推進として、「親子歯科健診」を実施するほか、運動推進では、壮年期からの運動教室として、順天堂大学と連携し、体力測定・身体活動量計を用いた運動効果判定や、専門的な運動指導など、積極的に各事業を展開します。



健康 幼児期の運動遊び『鬼ごっこ』

令和5年度から幼児期の心身の発達を促せるよう、多様な動きが含まれる「鬼ごっこ」を取り入れた運動遊びを導入し、市内認定子ども園・保育園・幼稚園などに普及啓発を図りました。令和6年度も引き続き、普及啓発を図るとともに、体力測定や体力向上の分析を実施しながら、幼児の心身の発達につながるよう取り組みます。



健康 帯状疱疹ワクチン接種助成

帯状疱疹ワクチンは、予防接種法に基づかない任意接種となっており、接種費用は全額自己負担となっています。そこで、帯状疱疹に罹患しやすくなる50歳以上の人が、日々の生活を健康にいきいきと過ごせるよう、帯状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を令和6年度から実施します。



詳しくは19ページへ